

平成29年度第4回野田市コミュニティバス検討専門委員会議

会 議 次 第

日時 平成29年11月16日（木）

午後3時30分から

場所 市役所低層棟4階 職員控室

1 開会

2 副市長挨拶

3 議事

まめバス運行計画見直しについて（資料1）

4 閉会

まめバス運行計画の見直しについて

平成 29 年 10 月 30 日に開催した第 3 回野田市コミュニティバス検討専門委員会議における以下の意見等に基づき、A 2 案に絞って、修正案を作成した。

1 コミュニティバス検討専門委員の意見

- 基本的には A 2 案でよい。しかしながら、次の 2 点については、修正してほしい。
- いちいのホールから市役所までの時間短縮を図るため、急行ルートを設定しているが、コミュニティバス本来の趣旨からすると急行ルートの必要性はない。
- 現行新北ルートの下総利根大橋入口から木間ヶ瀬中前間のバス停が廃止されているが、このルートは、地元（自治会）の強い要望があり、調整を重ねた上でルート設定した経緯もあることから、この区間の廃止は好ましくない。

2 運行計画見直し修正案

1) 修正 A 2 案

① 前回 A 2 案からの修正点

- 前回提示した新北ルート＜茶＞について、イオンタウンから 16 号を通り市役所を経由し、老人福祉センターまで延伸していたものを修正し、イオンタウンから県道結城野田線を通り、野田中央高校入口、吉春上、さくら公園、清水公園駅東口、一中前、市役所までとした。さらに、下総利根大橋入口から木間ヶ瀬中前間を廃止としていたルートを修正し、いちいのホールから関宿複合センター入口、立山入口、下総利根大橋入口から木間ヶ瀬中前を通るものとした。
- 新北ルート＜茶＞の修正に伴い、北ルート堤台＜黄緑＞について、市役所、川間駅、イオンタウン、清水公園駅東口、市役所としていた循環ルートを、市役所から川間駅南口間を結ぶ往復ルートとした。
- 中ルート＜ピンク＞において、廃止としていた目吹熊野神社入口から 1 部消防団前、目吹二ツ塚間を通るルートに変更した。

② 修正後の各ルートの概要（ルートの名称は仮称。また、各ルートとも、経路を示しているにすぎず、起終点は今後確定する。）

全体

- 全 12 ルート、平日 124 便、土日祝日 97 便、バス車両 13 台（予備車 2 台）
- 年間運行距離数 629,980 km（平日 244 日、土日祝日 115 日の場合）

関宿城ルート＜緑＞

- ・ルート自体は現行と同じ。
- ・中戸折り返し便を廃止し、全便関宿城博物館～関宿中央ＴＭ間を往復。
片道 15.7 km、40 分
- ・便数は平日 12 便、土日祝日 8 便、バス車両 1 台

新北ルート＜茶＞

- ・新北ルートの関宿地域と現行中ルートの国道 16 号西側ルートを融合
- ・いちいのホール～立山入口～県道我孫子関宿線～関宿高入口～関宿総合公園～関宿滑空場入口～江戸川左岸道路～尾崎小前～川間駅南口～イオンタウン～北部幼稚園前～県道結城野田線～吉春上～清水公園駅東口～市役所。片道 23.2 km、75 分
- ・便数は平日 8 便、土日祝日 6 便、バス車両 1 台

北ルート関宿（七光台経由）＜赤＞

- ・現行北ルートを、川間駅を境に関宿方面と野田方面に分割
- ・関宿中央ＴＭ～いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～（野田病院）～七光台～川間駅南口。片道 13.3 km、40 分
- ・平日 13 便、土日祝日 11 便、バス車両 1 台

北ルート関宿（イオンタウン経由）＜赤（白抜き）＞

- ・現行北ルートを、川間駅を境に関宿方面と野田方面に分割
- ・関宿中央ＴＭ～いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～（野田病院）～イオンタウン～川間駅南口。片道 14.0 km、42 分
- ・平日 12 便、土日祝日 10 便、バス車両 1 台

北ルート清水＜青＞

- ・現行北ルートを、川間駅を境に関宿方面と野田方面に分割
- ・市役所～愛宕駅～樺のホール～清水中～清水公園駅～総合公園～岩名中前～プラタナス通り～川間駅南口～イオンタウン。片道 11.1 km、37 分
- ・平日 14 便、土日祝日 12 便、バス車両 1 台

北ルート堤台＜黄緑＞

- ・現行新北ルート川間駅を境に関宿方面と野田方面に分割し、野田地域を運行
- ・市役所～愛宕駅～樺のホール～都市計画道路山崎吉春線～桜の里 2 丁目～七光台駅～川間駅南口。片道 9.6 km、32 分
- ・平日 15 便、土日祝日 13 便、バス車両 1 台

中ルート循環＜ピンク＞

- ・野田地域において、現行中ルートと北ルート堤台経由を融合
- ・市役所～愛宕駅～上町～樺のホール～都市計画道路山崎吉春線～プラタナス通り～川間駅南口～イオンタウン～田端～堆肥センター入口～県道

我孫子関宿線～上中山～1部消防団前～東部小前～野田特別支援学校前～小張病院前～市役所。1周 23.1 km、70分（右回り、左回り、交互運行）

- ・平日8便、土日祝日5便、バス車両1台

南ルート中根＜水＞

- ・現行南ルートを細分化
- ・市役所～旧日光街道～二中前～流山街道～桜木神社入口～旧日光街道～梅郷駅～都市計画道路梅郷西駅前線～みずき4丁目公園～流山街道～島会館入口～緑ヶ丘公園。片道 11.3 km、38分
- ・平日12便、土日祝日10便、バス車両1台

南ルート愛宕駅＜緑＞

- ・現行南ルートを細分化
- ・市役所～愛宕駅～上町～流山街道～梅郷駅～ハローワーク野田～みずき4丁目公園～西新田自治会館前～流山街道～梅郷駅～上町～愛宕駅～市役所。往復 16.6 km、54分
- ・平日5便、土日祝日4便
- ・下記の南ルート大殿井と合わせてバス車両1台で運行

南ルート大殿井＜緑＞

- ・現行新南ルートを細分化
- ・市役所～野田市駅～大殿井～下鹿野～電建第一住宅～みどり橋～大殿井～野田市駅～市役所。往復 12.1 km、39分
- ・平日7便、土日祝日4便
- ・上記の南ルート愛宕駅と合わせてバス車両1台で運行

南ルート循環＜ピンク＞

- ・老人福祉センター～梅郷11号公園～大殿井～中根～市役所～愛宕駅～上町～流山街道～梅郷駅～流山街道～みずき通り～流山街道～島会館入口～しらさぎ通り入口～老人福祉センター。1周 20.8 km、69分（右回り、左回り、交互運行）
- ・平日9便、土日祝日7便、バス車両1台

新南ルート循環＜紫＞

- ・現行新南ルートと南ルートを融合した循環ルート
- ・大利根温泉～スポーツ公園～福田保育所入口～木野崎入口～野田市駅～市役所～愛宕駅～辻前～樺のホール～琴平通り入口～上花輪・今上地区～梅郷駅～流山街道～島会館入口～老人福祉センター～大利根温泉。1周 28 km、93分（右回り、左回り、交互運行）
- ・平日9便、土日祝日7便、バス車両1台
（平日、土日祝日とも始発便、最終便は野田市駅大殿井間の短縮ルートを運行）

③修正によるA2案の懸念事項

- ・懸念事項として、急行ルート（新北）を修正し、市役所止まりとしたことから、野田梅郷住宅入口から梅郷 11 号公園間が現行 16 便から7便の減便となるが、この区間については、路線バスが相当の便数運行しており、利便性は確保されている。
- ・急行ルート（新北）のルート変更に伴い、下羽貫から向ノ内鹿島神社入口が現行より 1 便減便となるが 25 便が運行するので、利便性は確保されていると思われること。
- ・中ルートの一部延伸したルートにより、前回案で9便としていた便数が8便になったことにより、南通りから岩名香取前間が現行より 4 便の減便となるが、22 便が運行するので、利便性は確保されていると思われること。
- ・上記のほか、現行ルートとの比較において、廃止した区間、減便した区間についての考え方は、別添資料 1-1 のとおり。

3 運行経費見込額及び市支出見込額

- ・このルート案において、1 億円以内で運行を行うためには、運賃収入見込額は少なくとも 35,293 千円（税込みで 38,117 千円）が必要

（単位：千円）

ルート案	運行経費見込額	最大運賃収入見込額	最小市支出見込額
		最小運賃収入見込額	最大市支出見込額
A2 案	135,293	47,760 (51,580)	87,533
		32,381 (34,971)	102,912

※ （ ）表記は、税込み

4 その他

運行事業者に確認したところ

- ・分割発注が基本となること。
- ・予備車も 1 台増車する必要があること。

修正A2案

○廃止されるバス停（ルート）

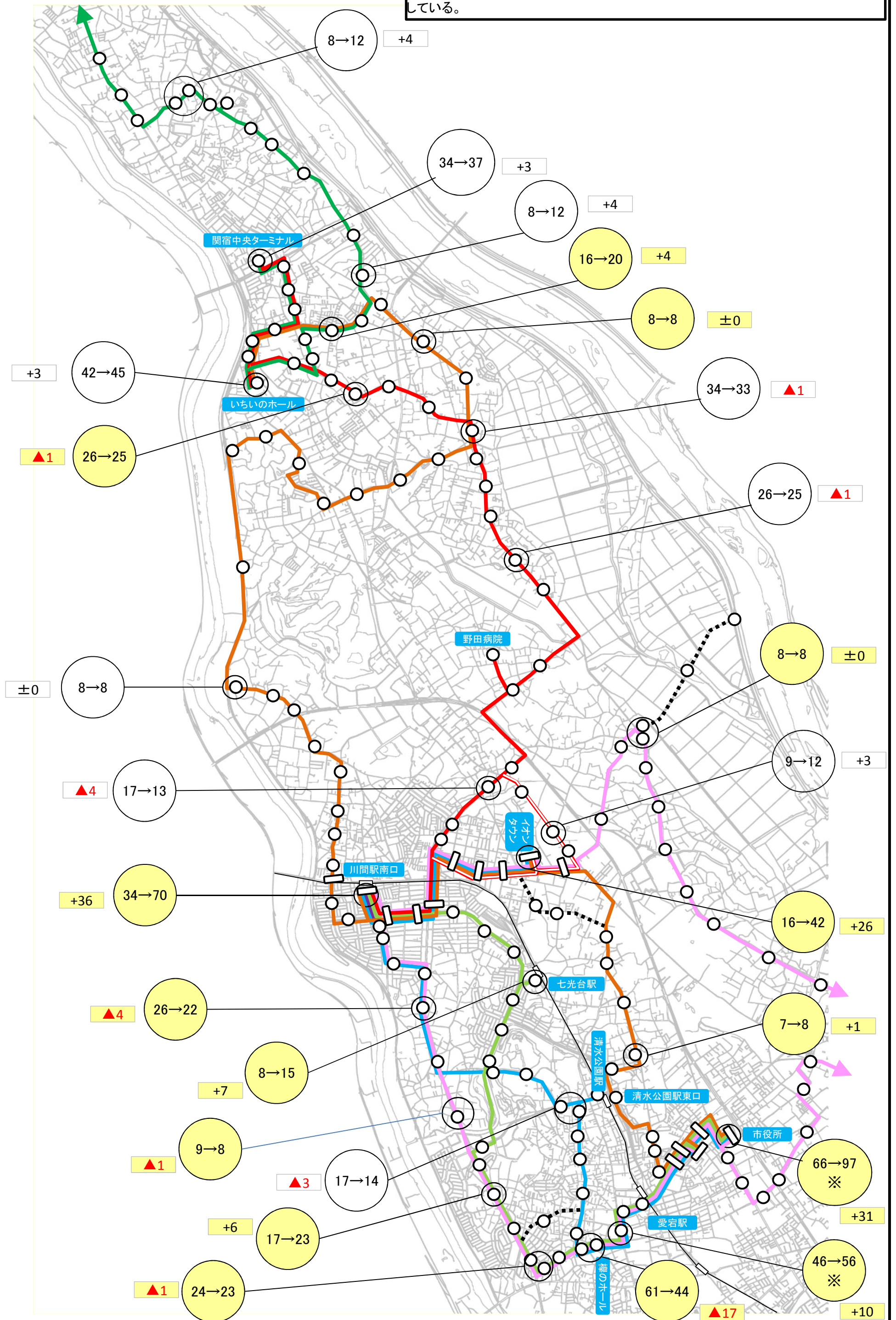
現ルート名	バス停（ルート）	廃止理由
中	・乳児保育所入口	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・ルートの利便性を考慮し、公共施設（櫛のホール）を通るルートとしたこと。
中	・小山 ・小船橋水辺公園 ・船形駐在所	・当該区間は、通過経路から飛び出した往復経路（往復約3km）でありながら、利用者のいない日が連続40日以上となることがあるなど、利用者が極端に少ないこと。 ・このような状況で25人乗りのバスを常時運行させることは、極めて効率が悪いこと。 ・地域性や道路条件を考慮すると、当該区間を含む利根川沿いの地域については、他の交通機関等による対応の方が即していると思われること。
中	・目吹高根 ・木野崎高根 ・木野崎病院入口 ・下屋敷 ・鹿野自治会館入口 ・斎場前 ・北大山	・周辺住民が利用可能なバス停があり、利便性は確保されること。 ・周辺住民への影響を抑えながら、ルートの短縮を図ることができること。
中	・七光台南 ・北部中前	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること
南	・花井ポンプ場前	・新ルート上にバス停を移設して対応可能であること。
新南	・里区自治会館入口	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・新たなルート（道路）設定による。

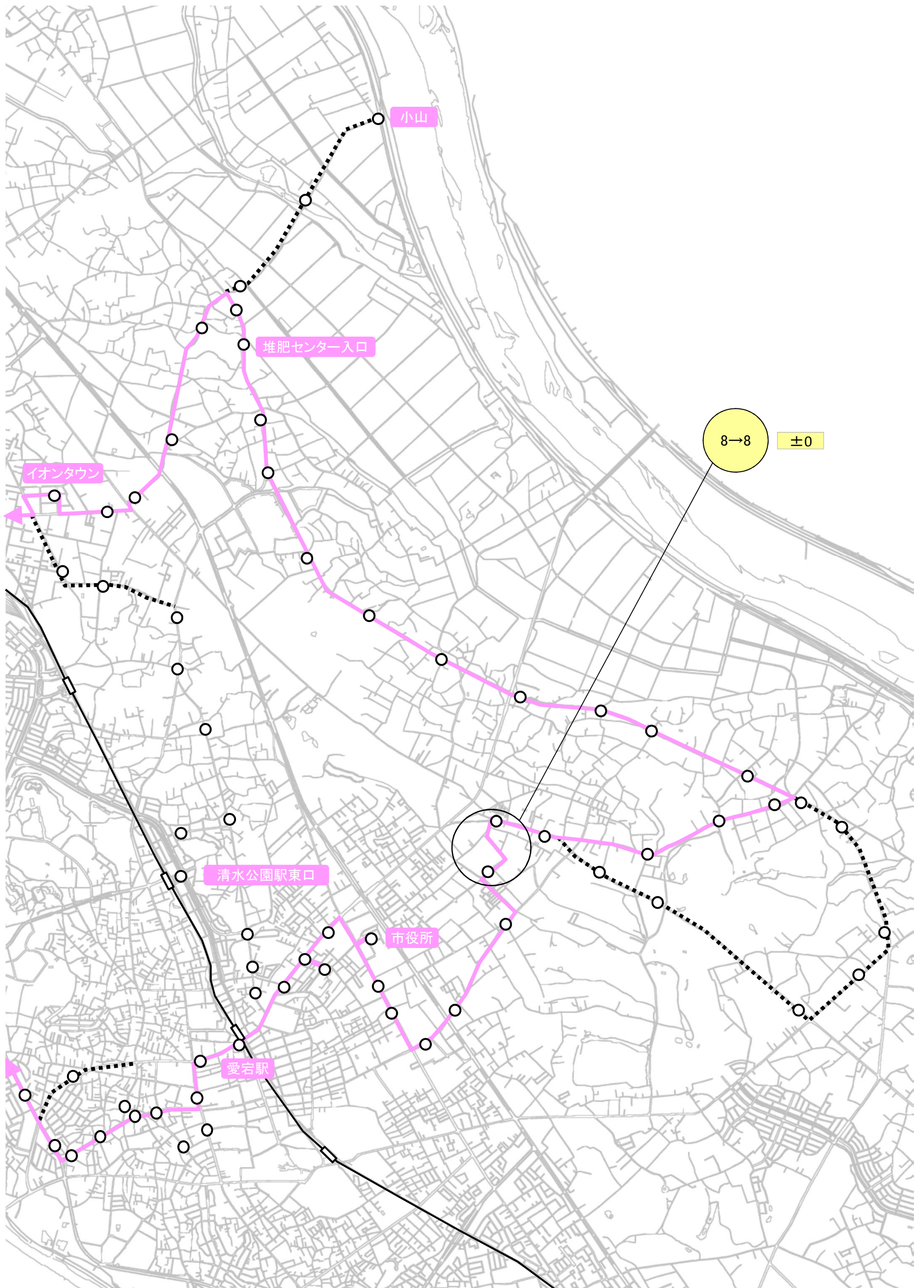
○減便されるバス停

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	・下羽貫 ・鴻ノ巣 ・向ノ内 ・向ノ内鹿島神社入口 ・木間ヶ瀬小前 ・砂南 ・志部前堀 ・下根 ・大山 ・ウェルフェア前 ・阿部 ・葵の園前 （・野田病院） ・木戸口	・26 便→25 便 △1 便 （・イオンタウンへの乗り入れ便は3便増となっている）
北	・谷津 ・七光台団地入口 ・七光台	・17 便→13 便 △4 便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停及び路線バスがあり、利便性は確保されること。
北	・南通り ・中央公園 ・プラタナス通り ・第五公園 ・岩名中前 ・岩名香取前	・26 便→22 便 △4 便 ・全便がイオンタウンに乗り入れており、買物や通院等の利便性は向上すること（イオンタウン乗り入れ便数9便→22 便）。 ・トータル 22 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北	・自由大広場 ・総合公園 ・野田貝塚 ・清水公園駅 ・清水郵便局南 ・清水中 ・旧さくら並木入口 ・清水八幡神社前	・17 便→14 便 △3 便 ・全便がイオンタウンに乗り入れており、買物や通院等の利便性は向上すること（イオンタウン乗り入れ便数0便→14 便）。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	・岩名大橋北	9便⇒8便 △1 便 ・減便は1 便であり、これまでと同じ程度の利便性は確保されていると思われること。
北 新北 中	・中野台鹿島町 ・中野台入口 ・中野台鹿島神社前	24 便⇒23 便 △1 便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル 23 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 新北 中 南 新南	・中野台 ・櫛のホール	61 便⇒44 便 △17 便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル 44 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 南 新南	・辻前	37 便⇒21 便 △16 便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
中 南 新南	・仲町	・28 便⇒19 便 △9 便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
南 新南	・キッコーマン前 ・新下町 ・長命寺前	・20 便⇒19 便 △1 便 ・新南ルートの経由便を廃止したことが減便となっているが、二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行を見直し、流山街道を直進するルートとしたことで、目的地までの所要時間が短縮され、利便性が向上すること。 ・トータル 19 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
南	・上花輪太子前 ・桜台 ・二中前 ・中根八幡公園	・16 便→12 便 △4 便 ・南ルートのシグザグ運行を見直し、効率の良いルート設定としたこと。 ・二中前通りと平成やよい通りのシグザグ運行の回り方を見直したことにより、例えば、中根八幡公園からノア前までの所要時間は20分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。
南 新南	・桜木神社入口 ・花井	・20 便→12 便 △8 便 ・新南ルートの経由便を廃止したことなどから減便となっているが、二中前通りと平成やよい通りのシグザグ運行の回り方を見直し、例えば、花井からノア前までの所要時間は16分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。
南	・ハローワーク野田 ・とんとんみずき橋	・16 便→14 便 △2 便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
南	・野田梅郷住宅入口 ・二ツ塚 ・二ツ塚小前 ・梅郷5号公園 ・ショッピングセンター前 ・梅郷8号公園 ・野田梅郷住宅 ・梅郷 11 号公園	・16 便→9 便 △7 便 ・周辺住民が利用可能な路線バスがあり、利便性は確保されること。





※南ルート(大殿井)と南ルート(愛宕駅)＜緑＞は、いずれも市役所を起終点とする往復ルートであり、資料1で示した便数は、往復で1便とカウントしている。しかしながらこの図の※印を付したバス停については、実態に合わせ、往復で2便としてカウントしている。

